

別紙 1 4

【薬効分類】 2 1 4 血圧降下剤

【医薬品名】 エプレレノン

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） イトラコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール、リトナビル含有製剤及びエンシトレルビル フマル酸を投与中の患者			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） イトラコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール、リトナビル含有製剤、 <u>コビシスタット含有製剤</u> 、 <u>セリチニブ</u> 及びエンシトレルビル フマル酸を投与中の患者		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと） 〈効能共通〉			10.1 併用禁忌（併用しないこと） 〈効能共通〉		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
イトラコナゾール ボリコナゾール ポサコナゾール リトナビル含有製剤 エンシトレルビル フマル酸	本剤の血漿中濃度が上昇し、血清カリウム値の上昇を誘発するおそれがある。	強力な CYP3A4 阻害薬は本剤の代謝を阻害する。	イトラコナゾール ボリコナゾール ポサコナゾール リトナビル含有製剤 <u>コビシスタット含有製剤</u> <u>セリチニブ</u> エンシトレルビル フマル酸	本剤の血漿中濃度が上昇し、血清カリウム値の上昇を誘発するおそれがある。	強力な CYP3A4 阻害薬は本剤の代謝を阻害する。